

事務事業名	上水道配水管布設等整備事業	整理番号	31404-020
所 管	水道工務課工事スタッフ		

**事務事業の位置付け**

期間	平成 8年度 ~ 平成 28年度	根拠法令・要綱等	御殿場市水道事業基本計画
基本計画における位置付け	基本政策 3-1 環境の保全と自然との共生	関連政策	
	政策 3-1-4 水資源の確保		

**事務事業の内容**

目的 (何のために)	水道水を安全確実に供給するための配水管の整備を図る。
対象 (誰・何を)	全市民、全事業者(印野簡易水道を除く)
手段 (どのようなやり方で)	導・送・配水管布設及び老朽(経年)管の更新、耐震管の布設。
成果 (どのような状態にしたいか)	配水施設の整備により、水道水の安定供給が図られる。
事務事業の背景・住民の意向	平成17年度に認可を受けた御殿場市上水道事業第8期経営変更(平成27年度まで)及び平成13年度に策定した御殿場市水道事業基本計画(H14~H28)に基づき配水量の安定化のため事業実施。
見直し改善の経過	平成12~13年度に、御殿場市上水道事業の現状をふまえて、安全で良質な水道水を安定的に供給する為の施策を検討し、平成13年度に御殿場市水道事業基本計画(H14~H28)を策定した。

**事務事業の実績・投入コスト**

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)												
平成16年度	配水管布設 L = 4,185m (内 老朽管等布設替 L = 508m)	<table border="1"> <caption>投入コスト(千円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>直接経費(上段)</th> <th>人件費(下段)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16年度</td> <td>150,000</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>17年度</td> <td>100,000</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>18年度</td> <td>150,000</td> <td>50,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	直接経費(上段)	人件費(下段)	16年度	150,000	50,000	17年度	100,000	50,000	18年度	150,000	50,000
年度	直接経費(上段)		人件費(下段)											
16年度	150,000		50,000											
17年度	100,000	50,000												
18年度	150,000	50,000												
平成17年度	配水管布設 L = 3,388m (内 老朽管等布設替 L = 863m)													
平成18年度	配水管布設 L = 4,741m (内 老朽管等布設替 L = 328m)													

**評価指標**

指標名	H16	H17	H18	H0目標
本管漏水修理件数(件)	8	8	4	0
有収率(%)	80	80	80	90
管布設1mあたりコスト(千円)	50	40	40	0

**事務事業の評価**

観点別・一次評価(担当部署の評価)	コメント		今後の方向性					
<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">観点別評価</td> <td>必要性</td> <td rowspan="3">良質な水道水の安定供給が図られ、また、本管漏水事故も減少している。</td> <td rowspan="3">今後の方向性</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> </tr> </table>	観点別評価	必要性	良質な水道水の安定供給が図られ、また、本管漏水事故も減少している。	今後の方向性	有効性	効率性	B	継続
観点別評価		必要性			良質な水道水の安定供給が図られ、また、本管漏水事故も減少している。	今後の方向性		
		有効性						
	効率性							
二次評価(行政評価委員会の評価)	コメント	今後の方向性						
二次評価	B	計画的布設替えを進めること。	継続					

**改革プラン**

平成19年度からの対応	御殿場市水道事業第8期経営変更に基づき整備順位を決め事業を順次進めていく。
平成20年度以降の対応	整備順位に基づき事業を順次進めていく。
改革により予想される成果	見直しにより、現在及び将来の水需要に基づく将来計画の適正化が図られる。